



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.org/>



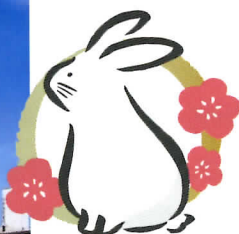
済生会

わがやま

NEWS

第47号

発行日: 2023.2



～ 理 念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気になる病院をめざします。

～ 基本方針 ～

1. 急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
2. 患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
3. 透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし、地域から求められる病院にする。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

2023年(令和5年癸卯)新年のご挨拶

皆様におかれましては、良き新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年もひとかたならぬご厚情を賜りましたことに心から感謝いたしております。

皆様方のお蔭で無事に2023年(令和5年)の癸卯(みずのとう)年を迎えることができました。

昨年も新型コロナウイルス感染症の波に翻弄されましたが、職員が一丸となり、発熱外来・コロナ陽性患者の外来診察・入院治療行いながら、救急応需・手術などの通常診療を並行して行うことができました。新型コロナウイルス感染や濃厚接触で休職を余儀なくされた職員はいましたが、人員の配置等々の迅速で的確な対応で病院機能を停止することなく診療にあたることができました。当院が行っている「本気の感染対策」のみではなく、職員の「本気の努力」の賜物であると自負しております。

昨年は、当院にとって喜ばしいことが二つありました。

一つは和歌山県の救急医療を担っている病院として救急医療功労者知事表彰をされたことです。当院の救急委員会を中心とした職員の対応が和歌山県に認められての受賞であると喜んでいきます。令和2年度の救急受け入れ件数2,000件



済生会和歌山病院
院長 川上 守



地域と共に、和歌山と共に、これからも共に、済生会和歌山病院





Courtesy of stock.adobe.com

以上の病院は和歌山県内で4病院あり、医師一人当たりの件数は88件と他の病院を凌駕していました。その後も救急受入れ件数は、年間2,000件を超え、令和4年12月末の時点で和歌山市の救急車受け入れのみで2,384件と日々救急患者さんの対応にあたっております。

もう一つは、10月6日・7日の両日にわたり受審しました病院機能評価です。

これは、病院の組織全体の運営管理や提供される医療に対して第三者の立場から評価されるもので、病院の更なる改善活動の推進、

病院体制の充実や医療の質の向上に有益であるのはいうまでもありません。

今回審査を受けるにあたり病院機能評価部会をはじめ多くの委員会・部会ならびに院内各部署が一致団結して対応しました。非常に多くの審査項目があるのですが、不適格事項の指摘はなく、認定証が届くのを楽しみにしているところです。Withコロナの状況は当面続きますが、安全・安心・信頼と納得の得られる質の高い、患者さん中心の医療サービスを効率的に提供する所存です。

さて、今年の干支の癸卯（みずのとう）は「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった飛躍と向上の縁起のよさを表しているようです。

令和5年は私どもの努力が花開き、大きな実となるよう、患者さんご家族のみならず地域の皆様が安心して暮らせるような医療サービスを提供できるよう職員一丸となって尽力して参ります。

日頃からお世話になっております多くの医療機関や介護施設等の皆さまのご協力とご支援なしには当院は成り立ちません。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

本年が皆様方にとりまして良い年になりますことを祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

救急医療功労者知事表彰

和歌山県救急医療功労者知事表彰の団体表彰を受賞しました。

当院は、昭和39年9月に救急告示医療機関に指定されて以来、24時間365日和歌山医療圏を中心に救急医療への取り組みを積極的に努めて参りました。

また、職員一人一人の救急医療に対する意識の高まりもあり、近年では、年間2,000台以上の救急車の収容を行っており地域の救急医療確保に尽力しております。

この度、和歌山県知事より地域の救急医療確保、救急医療対策の推進に貢献したとして、『令和4年度 救急医療功労者知事表彰』を初受賞いたしました。この受賞を励みに、更に地域の皆様から信頼され必要とされる病院となるため職員一同努力して参ります。



～ 臨床検査科 ～

臨床検査科は臨床検査技師12名・事務クーク1名から構成され、日々外来・入院患者に対し、主に血液や尿を用いた血液検査・生化学検査、悪性腫瘍などの有無をみる病理検査、手術や処置の際に必要な輸血検査、心電図や心臓・血管エコー等の生理機能検査、細菌感染の有無や抗菌薬の適応を確認する微生物検査、現在流行継続中の新型コロナウイルスに関する検査等を実施しております。

診断・治療を行う上で、臨床検査は必要不可欠でありその結果が直接診療に影響を及ぼします。そのため、検査の精度・正確性についても日々管理を行い、提供する検査結果の信頼性の確保に努めております。また、その精度・信頼性確保の認証として2022年6月1日には、一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会・公益社団法人 日本臨床検査標準協議会より品質保証施設認証制度を取得しました。

その他にも検査業務を活かした栄養サポート、糖尿病ケア、肝臓病ケア、感染対策などの各チームにも参画しています。栄養サポートでは、栄養指標項目のプレアルブミンや微量元素のZn・Cuの測定・栄養診療計画書作成の補助、糖尿病ケアでは自己血糖測定指導・持続型皮下グルコース測定指導や糖尿病教室の開催、肝臓病ケアでは肝臓病教室の開催など、感染対策では、抗菌薬適性使用カンファレンスでの抗菌薬の選択・投与量・副作用の有無・血中濃度の確認や新型コロナウイルス対策における検査体制の構築、院内クラスター発生時の対策にも対応しております。これからも、「地域と共に、和歌山と共に、これからも共に、済生会和歌山病院」に沿った、より良い臨床検査業務を目指してまいります。



臨床検査科 技師長
久保 光史

POCコーディネーター1名 超音波検査士(循環器)3名

超音波検査士(血管)1名 血管診療技師3名

認定輸血検査技師1名 糖尿病療養指導士1名

栄養サポートチーム(NST)専門療法士1名



～ 放射線科 ～

我々放射線科では、各診療科に診療上有用な画像を提供する事が、主な役割となります。

モダリティーとしては、一般撮影、CT、MRI、血管造影装置、X線TV装置、骨密度装置、手術用イメージ、ポータブルX線装置と多様な検査、治療に9名のスタッフで対応しています。また本年度からは腹部エコー検査にも取り組んでいます。年間2,000件以上の救急車の要請に対応している当院の状況にも365日、当直制でいかなる検査、治療にも対応できるよう、全スタッフが、検査の質を下げる事無く全てのモダリティーに対応できる体制を敷いています。

当科の特徴としては、「被ばく低減」に努めている点にあります。（日本放射線技師会 医療被ばく低減施設認定 受審中）患者さんには公的な基準を基に必要適切な被ばく量での検査実施、また職員に対しても職業被ばく低減に繋がる講習などを行っており、患者さんにも職員にも「安心安全な放射線診療の提供」を目指しています。

その他では、院外からの紹介検査も行っており、CT検査、MRI検査は放射線科医と共に、多くの診療科がある病院の特性を生かした内容での検査を実施させて頂いています。

周辺地域他施設の技術水準も注視しながら、個人のスキルアップを図り、また、タスクシフトによるチーム医療に参加し、今後もより診療に役立つ画像の提供に努めていきます。



放射線科 技師長
前田 哲男

取得認定

放射線管理士2名・放射線機器管理士1名・X線CT認定技師3名・医療情報技師1名

救急撮影認定技師1名・作業環境測定士1名・臨床実習指導教員1名 等



～ 感染防止対策室より vol.3 ～

清掃職員ミーティング

病院の感染対策を推進する上で、清掃職員の役割は非常に重要です。

当院の病院清掃は委託していますが、病院で働く仲間として、安全に勤務していただきたいと考えています。そのためには清掃職員さんにも、当院の職員と同様に、情報提供、感染対策に関する教育を行う必要があると考えます。

そこで清掃職員さんとの情報共有、意見交換の場が必要と考え、今年の2月より、月1回ミーティングを行っています。

お互い力を合わせて感染対策の推進、業務改善を図ることを目的に活動しています。

【ミーティング内容】

病院側からは、感染対策上の問題や情報を提供、感染対策推進のための提案等をさせて頂いています。

清掃職員さんからは、ゴミの分別が不適切、危険なものが落ちていた等、ルールが守られていない場面があれば、写真を撮るなどし、情報提供して頂いています。

【清掃職員さん対象勉強会の開催】

清掃職員さん向けの勉強会を年3回シリーズで計画し、現在第2回を終了しました。参加者からは高評価をいただいております。来年度もみなさんに興味を持ってもらえるような勉強会の内容を検討しています。



感染管理認定看護師
佐藤 慎悟



～ 赴任のお知らせ ～



脳神経外科
横矢 美穂 医師

令和5年1月より済生会和歌山病院に着任いたしました横矢美穂と申します。
出身は兵庫県ですが、大学生になってから和歌山市に移住し、これまで和歌山県立医科大学附属病院、南和歌山医療センターで勤務してきました。研修医のときに済生会和歌山病院でお世話になっており、また当院で勤務できることを大変嬉しく感じております。
まだ若手であり至らぬ点も多いかと思いますが、皆様のお役に立てるように精進いたしますのでよろしくお願いいたします。

専門領域：脳神経外科
出身大学：和歌山県立医科大学
卒業：2018年 卒業



整形外科
坂井 智 医師

2022年10月より済生会和歌山病院整形外科に着任致しました坂井智と申します。
和歌山県立医科大学出身で、以前は橋本市民病院整形外科で勤務しておりました。
一般整形外科、外傷を主に診療にあたらせていただきます。まだまだ至らぬ点があると思いますが地域の皆様のお役に立てるよう日々精進いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

専門領域：整形外科一般
出身大学：和歌山県立医科大学
卒業：2020年 卒業

～ 栄養管理科から季節のオススメレシピの紹介～



栄養管理科の「冬のおすすめレシピ」 “鱈のカレー蒸し”



材料

- （1人前）
- ・ 鱈.....100g（1切れ）
 - ・ 塩.....1g
 - ・ こしょう.....少々
 - ・ えのきだけ.....30g
 - ・ たまねぎ.....15g
 - ・ 人参.....15g
 - ・ にんにく.....1/4片



調味料

- ・ カレー粉.....1g
- ・ A 酒....7.5ml（大さじ1/2）
- ・ オリーブオイル...3g（小さじ3/4）

エネルギー：134kcal、
たんぱく質：18.9g、塩分：1.3g



作り方

1. 鱈は水でさっと洗い、酒（分量外）で洗う。ペーパーで水気を拭く。塩、こしょうをしておく。
2. えのきだけは石づきを取り、半分に切ったあと、ほぐしておく。
たまねぎは1cm幅のくし形切り。
人参は皮をむき、細切り。
にんにくは皮をむいたあと、芯を取り、みじん切り。
3. Aの調味料は合わせておく。
4. ③に①と②を漬け込む。
5. 調味液ごとバットに並べて12分蒸す。



選定療養費 改定(変更)のお知らせ

当院では、令和5年4月1日より外来機能の明確化・連携を強化し、患者さんの流れの円滑化を図るために都道府県ごとに決定される『紹介受診重点医療機関(200床以上)』となる予定です。他の医療機関等から「紹介状」を持たずに受診される場合には、診療費とは別に初診・再診時の『選定療養費(保険適応外)』の徴収が義務付けられております。

令和5年1月1日から、下記のとおり段階的に料金を改定(変更)いたします。

ご理解・ご了承くださいませようお願いします。

初診時 (紹介状をお持ちでない初診の患者さん)

～令和4年12月31日

1,100円(税込)

令和5年1月1日～

4,400円(税込)

令和5年4月1日～

7,700円(税込)

再診時 (当院から他の医療機関に紹介を行ったが、引き続き当院への受診を自ら希望され、紹介状をお持ちでない患者さん)

令和5年4月1日～ **3,300円(税込)《その都度》**

■選定療養費とは

「初期診療は、医院や診療所などのかかりつけ医で行い、高度・専門医療は病院(200床以上)で行う」という、医療機関の機能分担推進を目的として厚生労働省より制定され、他の医療機関からの紹介状なく当院に受診された場合に診療費とは別にご負担いただく療養費です。

～ 地域医療連携室からのお知らせです ～

地域医療連携室に新たに2名のスタッフが入职いたしましたのでご紹介させていただきます。

水野 みき

令和4年9月より入职いたしました看護師の水野みきと申します。退院・転院を始めとする後方支援業務を担当させて頂いています。地域連携室という初めての部署で分からないことも多いですが、一生懸命頑張りますので今後ともご指導よろしくお願い致します。



吉津 雅人

令和4年4月より入职いたしました吉津雅人(よしづ まさと)と申します。社会人1年目で分からないことだらけですが、1日でも早く仕事を覚え、済生会和歌山病院に貢献したいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



無料低額診療事業

済生会和歌山病院では医療費にお困りの方に対し無料低額診療事業【自己負担額の免除】を行っています。

世帯の収入額や家庭状況等をお聞きし、ご相談のうえ決定します。

詳細は地域医療連携室・相談員へお問い合わせください。

ご相談
ください!



地域医療連携室・医療ソーシャルワーカー

TEL.073-424-5185 (代表) 受付時間:[平日]10時00分～16時00分まで



済生会和歌山病院外来診療予定表

(令和5年2月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金
フットケア外来		担当医※13:30~	—	—	—	—
内科	糖尿病代謝内科	藤原舞美	英肇 担当医	岩倉浩	英肇	小池諒
	循環器内科	尾鼻正弘 禁煙外来(午後~)	医大応援医師	尾鼻正弘	下角あい子 第2,第4のみ (1,3,5週目休診)	医大応援医師 下角あい子
	呼吸器内科	高木陽	—	赤松弘朗	高木陽	—
リウマチ・膠原病科		—	—	—	安武美紗生※13:00~	—
脳神経外科		三木潤一郎	小倉光博※1	小倉光博※1	三木潤一郎	仲寛 (第1・3・4・5週)
			横矢美穂		横矢美穂	山家弘雄 (第2週)
もの忘れ外来(PM)		—	—	小倉光博	小倉光博	—
消化器病 センター 大腸肛門病 センター	消化器内科	川口雅功 ※10:00~	田端康人	川口雅功	山田晃佑	川口雅功 田端康人
	外科(消化器)	出口真彰※2	—	坂田好史※2	—	加藤紘隆※2
心臓血管外科		湯崎充	高垣有作 (リンパ浮腫)※6	湯崎充 (予約紹介のみ)	上松耕太	湯崎充
		中西靖佳※5			湯崎充 (予約紹介のみ)	
整形外科		新患診 村上公英 橋本光司	川上守	新患診	川上守	山東茂樹
			山崎悟		山崎悟	坂井智
			山東茂樹		村上公英	—
			坂井智		橋本光司	—
人工関節センター		—	—	—	山崎悟※4	—
耳鼻咽喉科		桑添博紀	—	金子富美恵	—	—
腎センター		—	篠崎宏光	—	岡本昌典	—
眼科		鈴木映美	松下愛	—	西晃佑	今居一輝
皮膚科		平田一希 (第1・3・5週)	—	山本有紀※3 (皮膚外科)	—	—
		酒井伽奈 (第2・4週)				
泌尿器科		—	—	康原根浩	—	和田拓磨

専門
外来

- ※1 脳神経外科 小倉光博医師(火・水)の外来では一般診療に加え、専門外来(三叉神経痛・片側顔面麻痺・舌咽神経痛)を行っております。
 ※2 外科 一般診療に加え、大腸肛門外来を行っております。
 ※3 皮膚科 山本有紀医師(水曜日)は皮膚外科専門外来の為、予約診のみとなります。
 ※4 人工関節センター 山崎悟医師(木曜日)は15:00から予約診のみとなります。
 ※5 心臓血管外科 中西靖佳医師(月曜日)は13:30~15:30となります。
 ※6 心臓血管外科 高垣有作医師(火曜日)は予約診のみとなります。



済生会和歌山病院
ホームページQRコード

診療
案内

診 察 日:月~金曜日
 受付時間:午前8時30分~午前11時(但し、予約患者はこの限りにあらず火・木 整形外科 川上は8:30~15:00)
 休 診 日:土・日・祝祭日(年末年始)



ご紹介の際は、患者さんの待ち時間短縮の為に、ご予約をお取り下さいますようお願いいたします。

交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187